

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【浦和別所小学校】

| ⑥ 次年度への課題と改善策 |  |
|---------------|--|
| 知識・技能         |  |
| 思考・判断・表現      |  |
| 主体的に学習に取り組む態度 |  |

| ① 目標・策        |  |
|---------------|--|
| 目標            | 策  |
| 知識・技能         | ⇒ 学校評価の児童アンケート「授業の内容がよく分かります」の「そう思う」の数値を75%以上にする。<br>さいたま市学習状況調査における「授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な回答の数値を90%以上にする。 |
| 思考・判断・表現      | ⇒ 「よい授業」の4つの因子④児童生徒の活動「問題の解決に向け、友達同士で話し合う時間がある」の数値を1回目のアンケートより2回目のアンケートの数値を向上させる。                        |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ⇒ さいたま市学習状況調査の「新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか」の肯定的な回答を85%以上にする。  |

| ⑤ 目標・策の達成状況   |  | 評価(※) |
|---------------|--|-------|
| 知識・技能         | ①結果分析(管理職・学年主任等)<br>②詳細分析(学年・教科担当)<br>③分析共有(児童生徒の実態把握)<br>職員会議・校内研修等 |       |
| 思考・判断・表現      |  |       |
| 主体的に学習に取り組む態度 |  |       |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

| ② 全国学力・学習状況調査結果・分析(4月) |  |
|------------------------|--|
| 知識・技能                  | 国語・算数のすべての問題で、全国平均正答率を上回っていた。しかし、国語「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」問題の正答率が67.4%、算数「正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題の正答率が49.4%と、他の領域よりやや低かった。   |
| 思考・判断・表現               | 国語・算数のすべての問題で、全国平均正答率を上回っていた。しかし、国語「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」記述式の問題の無解答率が9.6%、算数「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」記述式の問題の無解答率が3.9%と、他の領域に比べて、白紙のまま提出している率が高かった。 |
| 主体的に学習に取り組む態度          | 児童質問紙調査において、本校の児童は、多くの項目で全国平均を上回り、肯定的な回答をしていた。しかし設問7「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに、自信をもって「持っている」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っていた。  |

| ④ さいたま市学習状況調査結果・分析 |  |    |  |
|--------------------|--|----|--|
| 小3                 |  | 小4 |  |
| 小5                 |  | 小6 |  |

| ③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後) |        |
|----------------------------|--------|
| 目標                         | 策      |
| 知識・技能                      | ⇒ 変更なし |
| 思考・判断・表現                   | ⇒ 変更なし |
| 主体的に学習に取り組む態度              | ⇒ 変更なし |